

平成27年度国立情報学研究所共同研究「情報学の知見を活かした
人文社会科学古典デジタル・テキスト分析の研究開発」主催

国際ワークショップ

Rare materials, digitization, and the role of curators

貴重資料・デジタル化・キュレータの役割

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」
(一橋大学社会科学古典資料センター・附属図書館) プレイベント

講演 1. Pip Willcox オクスフォード大学 ボドリアン図書館
The element they lived in: special collections, scholarship, and scale

講演 2. 床井啓太郎 一橋大学社会科学古典資料センター
「一橋大学社会科学古典資料センターにおける西洋古典資料の保存と修復:これまでと今後の展望」

Opening 山部俊文 一橋大学附属図書館長

Closing 深貝保則 横浜国立大学附属図書館長

司会 福田名津子 一橋大学附属図書館専門助手

2016年2月12日(金) 15:00-17:00

一橋大学時計台棟1階 図書館会議室

主催:平成27年度国立情報学研究所共同研究「情報学の知見を活かした人文社会科学古典デジタル・テキスト分析の研究開発」(研究代表者 深貝保則 横浜国立大学附属図書館長、国際社会科学研究院教授)

共催:平成28年度文部科学省共通政策課題「文化的・学術的資料等の保存等」採択『西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業』一橋大学社会科学古典資料センター、一橋大学附属図書館

➤ 使用言語:英語(一部日本語)

➤ 参加無料・申込不要

➤ 問合せ先 一橋大学附属図書館研究開発室 042-580-8252 rd@lib.hit-u.ac.jp